

「第1回津山市版事業仕分け（平成22年度実施）」対象事業の方針実施状況と予算反映状況（1）

H24.5.18

番号	事業名	部課名	年度別予算（千円）			増減額(千円) (H23-H24)	判定結果、今後の方針、方針の実施状況	
			H22年度	H23年度	H24年度			
1	「広報つやま」発行事業	秘書広報室 協働推進室	41,980	42,493	42,273	220	判定結果	市が実施（要改善）・・市民ニーズの把握、広報紙の作成方法や経費削減、文書配布手数料
							今後の方針	改善見直し・・・市民ニーズの把握、広報紙作成方法の検討、経費削減の検討、配布手数料の調査と見直し協議
							実施状況	市民アンケートを実施して内容・編集への反映を開始するとともに、ページ数を削減することとした。作成作業時間の短縮、広報紙広告枠の民間への売却を行った。平成24年度には、広報紙を全面的にリニューアルする。 配布部数の精査を行い、対平成23年度比で240千円減額した。配布方法や他都市の状況について調査を行ったが、現在の方法が合理的かつ低額であった。配布委託については、委託先の津山市連合町内会との協議を行ったが、配布世話人の負担も重く、認められないとの意見であり、また、無償ボランティア配布についても、町内会では、対応できないとの意見が多く出された。町内会による配布は、現時点で最も合理的と判断しているが、引き続き効率的、合理的な手法を検討する。
2	市税催告事業 （納税よびかけセンター）	納税課 保険年金課	12,369	12,086	10,815	1,271	判定結果	市が実施（要改善）・・事業内容の精査
							今後の方針	改善見直し・・・市民業務内容の見直しによる経費節減
							実施状況	事業内容を精査し、火曜日の定期的な夜間架電、4期分以上の現年滞納者への呼びかけを廃止して経費の削減を図った。財産調査結果入力、督促状返戻の記録入力、滞納整理強化月間（3,5,12月）中の夜間架電を追加して事業の強化を図った。今後は、費用対効果を分析し、どの段階で廃止するべきかを検討する。 （収納率：平成22年度：93.14%、平成23年度：93.54%（見込み））
3	津山老人福祉センター 運営事業	高齢介護課	11,301	11,301	8,716	2,585	判定結果	市が実施（要改善）・・経費の削減
							今後の方針	改善見直し・・・市民温泉施設の修理改修の補助をしない
							実施状況	入浴施設の修繕改修に対して補助しないことを平成23年3月31日に社会福祉協議会に通知した。平成23年4月から入浴施設は中止となっている。
4	津山老人福祉センター バス運行事業	高齢介護課	5,292	5,900	0	5,900	判定結果	廃止・・・事業の必要性
							今後の方針	廃止・・・平成23年度末で事業廃止に向けて調整
							実施状況	平成23年3月31日に1年後廃止を通知し、平成24年3月31日をもって廃止した。
5	高齢者講座事業	高齢介護課	1,120	1,120	0	1,120	判定結果	廃止・・・事業の必要性、一般講座との重複
							今後の方針	廃止・・・平成23年度末で事業廃止に向けて調整
							実施状況	平成23年度末をもって事業廃止。今後、各講座は、一般生涯学習での自主活動として位置付けていく。
6	生ごみ処理容器設置事業 補助金	環境業務課	3,058	3,058	1,463	1,595	判定結果	市が実施（要改善）・・制度の周知、啓発活動の強化、補助による普及効果
							今後の方針	改善見直し・・・把握制度の周知、啓発活動の強化、制度の終期の検討
							実施状況	アンケート調査を実施した結果、制度の必要性とごみ減量への意識改革にも効果的であるという結果が得られた。生ごみ処理機の活用等の方策により、家庭可燃ごみを15%減量化する数値目標を掲げ、津山市第2次ごみ減量行動計画を策定した。今後、制度の周知やごみ減量に対する市民意識改革のためにテレビ・新聞等の活用や町内説明会などに積極的に取り組む。平成24年度は、補助内容について効果的な制度となるよう総合的に判断し結論をだすこととしている。
7	ファミリーサポート センター管理運営事業	こども課	5,918	5,835	5,825	10	判定結果	市が実施（要改善）・・組織機構と開設場所、利用料金、運営形態
							今後の方針	改善見直し・・・組織機構と開設場所の検討、利用料金の見直しの検討、運営形態見直しの検討
							実施状況	子育て支援関係業務を機能的に統括管理するため、担当部署を平成23年4月から「こども課」へ変更した。開設場所を検討した結果、休日や時間外の利用が全体の約40%と多いことから現状が妥当と考える。利用料金については、他市の状況や、利用者等の負担を加味して設定しており、現状としては妥当と考える。運営形態を検討した結果、開設日時、経費削減効果、行政の直接実施による安心感等踏まえ、直接実施が妥当と考える。
8	遺児激励金支給事業	こども課	270	220	290	70	判定結果	市が実施（現行どおり）
							今後の方針	現行どおり
							実施状況	現行どおり実施している。入学激励金の支給時期を変更したことで、より適正な時期に支給できるようになった。支給率は100%で維持している。今後も個人通知や広報等での周知に努め、遺児激励金の受給資格者に申請漏れがないよう取り組んでいきたい。

「第1回津山市版事業仕分け（平成22年度実施）」対象事業の方針実施状況と予算反映状況（2）

H24.5.18

番号	事業名	部課名	年度別予算（千円）			増減額(千円) (H23-H24)	判定結果、今後の方針、方針の実施状況	
			H22年度	H23年度	H24年度			
9	パワーアップ商業振興事業 (空き店舗対策)	経済振興課	13,000	13,000	7,700	5,300	判定結果	廃止・・・・・・・・自己負担で行うべき
							今後の方針	改善見直し・・・・・・・・事業の再整理の実施（3年間実施し、効果を検証する）
							実施状況	実施主体である商店街において、中心市街地活性化の効果を高めるための振興方針を策定した。市としては、通行量調査等を実施し、事業効果の検証を行い、制度内容の見直しを図ることとした。短期間で出店者が退店した場合には補助金の返還を義務付ける等、一定の条件を設けて、事業主体の責任を明確化した。
10	科学技術イベント 委託事業（産業展）	経済振興課 新産業創出課	(10,000) H16	(1,000) H23	(1,000)	-	判定結果	市が実施（要改善）・事業内容の精査、他の産業も含めるべき
							今後の方針	改善見直し・・・・・・・・現状の産業展は廃止し、農商工連携を推進する事業として開催を検討する
							実施状況	平成23年度に従来行われていた、各企業等の単独の取り組みによる開発された商品の展示を主とした見本市を抜本的に修正し、企業や産業間の連携、そして消費者、市民との交流を行うことで産業等の活性化につなげられるような新しいかたちで「つやま地域産品まつり」を開催した。（8団体 43店舗出店、来場者1万人）津山地域の主に農商工連携に関連する特産物等の試食による消費者ニーズ調査、対面販売、展示を行った。イベントの魅力向上、幅広い団体の参加、商談等につながるよう関係者に情報発信していく。
11	共同作業所・農機具保管庫 管理委託事業	農業振興課	80	80	80	0	判定結果	廃止・・・・・・・・地元等への譲渡を検討するべき
							今後の方針	廃止・・・・・・・・一定年数を経過した施設から順次、譲渡の調整を行う
							実施状況	一部施設で耐用年数の不一致が見られ現地確認による耐用年数の確定を行ったことと、譲渡時における施設の修繕基準や土地の取り扱いについて、公売等も視野に入れた譲渡の方針を変更したことにより、実施が遅れている。今後、施設の利用状況や管理組合の意向調査等を通して課題点を把握し、譲渡に係る基本方針を定め、取り組んでいく。
12	特別支援教育推進事業	学校教育課	2,568	2,523	2,536	13	判定結果	市が実施（要改善）・県などの関係機関との連携、ボランティアの活用
							今後の方針	改善見直し・・・・・・・・一貫した指導体制の再構築を行う
							実施状況	一貫した指導支援体制の整備に向けて、「発達障害支援関係者連絡協議会」の設立を準備し、平成24年度から定期開催の予定。巡回相談事業（相談員の派遣）は、市が主体となり平成23年度49回実施した。県の相談員の派遣事業も6回活用した。巡回相談員をボランティアで行うことについては、専門性や責任が伴うため、ボランティアとして受け手の確保が難しく、実現できていない。今後、指導補助として協力要請を検討していきたい。
13	津山国際総合音楽祭事業	文化課	(41,000) H19	(30,000) H23	-	-	判定結果	市が実施（要改善）・市民参加とPR活動、経費の見直し
							今後の方針	改善見直し・・・・・・・・プログラム構成の見直しやPR活動の強化、事業規模の検討
							実施状況	平成23年9月に開催した第8回津山国際総合音楽祭は、社会経済情勢や市財政状況を勘案し、事業規模を縮小して経費削減を図り実施した。音楽祭のプログラムは、より多くの市民に親しまれ、感動を与えるものになるよう協議を重ね、市民参加が得られやすい構成とした。また、入場料を低料金とし、新たなパスポートチケットの作成や市内外への幅広いPRを行い、入場者確保に努めた。その結果、入場者は、16,397人（前回12,844人）となり、3,553人増加した。今後は、今回の実施状況を踏まえ、次回音楽祭の開催に向けて市民や関係者等と検討を進めていく。
14	津山文化振興財団助成事業 (ヴォーカルアンサンブル津山)	文化課	5,280	5,280	1,000	4,280	判定結果	市が実施（要改善）・活動内容や経費の見直し、市民への認知度の向上
							今後の方針	改善見直し・・・・・・・・認知度の向上、広報・宣伝方法の検討、事業内容・経費等全体の検討を行う
							実施状況	第8回音楽祭終了後、これまでの活動内容や実績、課題を踏まえ、今後の全体的な運営方針の検討を行った。平成24年度は、機動的で市民がより親しみを感じられる合唱団を目指し、市内及び県内在住者をメンバーとして再構築を行うこととして、予算を削減した。
15	アイススケート場 管理運営事業	スポーツ課	(14,892)	(14,098)	9月補正対応	-	判定結果	市が実施（要改善）・経費の削減、収入増の取り組み
							今後の方針	改善見直し・・・・・・・・利用料金、利用促進、サービス向上、経費削減について検討する
							実施状況	管理運営業務委託料について、委託内容の精査を行い、平成22年度比で約800千円削減した。新たに県内の全小中学校等へのポスター等の配布、ガラスハウスとの共同キャンペーン、学校行事等への利用誘致を行った。H23年度の利用状況は、対H22年度比で収入（102.2%）、入場者数（99.6%）であった。今年度は、平日昼間の利用者数増の取組みに力を入れていきたい。
合計			102,236	102,896	80,698	22,198		

毎年の予算に計上しないため前回予算と比較した事業	前回	H23年度	H24年度	増減額(千円)
科学技術イベント委託事業（前回予算：H16年度）	10,000	1,000	1,000	9,000
津山国際総合音楽祭事業（前回予算：H19年度）	41,000	30,000	0	11,000